

三重テレビ放送 中期経営計画

2026年度～2028年度



作成日：2026年4月1日

三重テレビ放送



基本方針

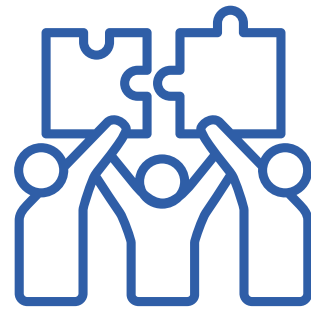
Vision

「地域に根ざし、未来を映す
三重の心をつなぐメディアへ」

情熱をもって地域社会と共に歩み
信頼される情報・文化の発信拠点を目指します



改革の基本的な考え方と方向性



役職員の意識

時代、社会や環境の変化に対応した新しい価値の創造に向け一人ひとりが当事者意識を持ち自ら考え行動することによりMTVの存在意義を高める



MTVの価値

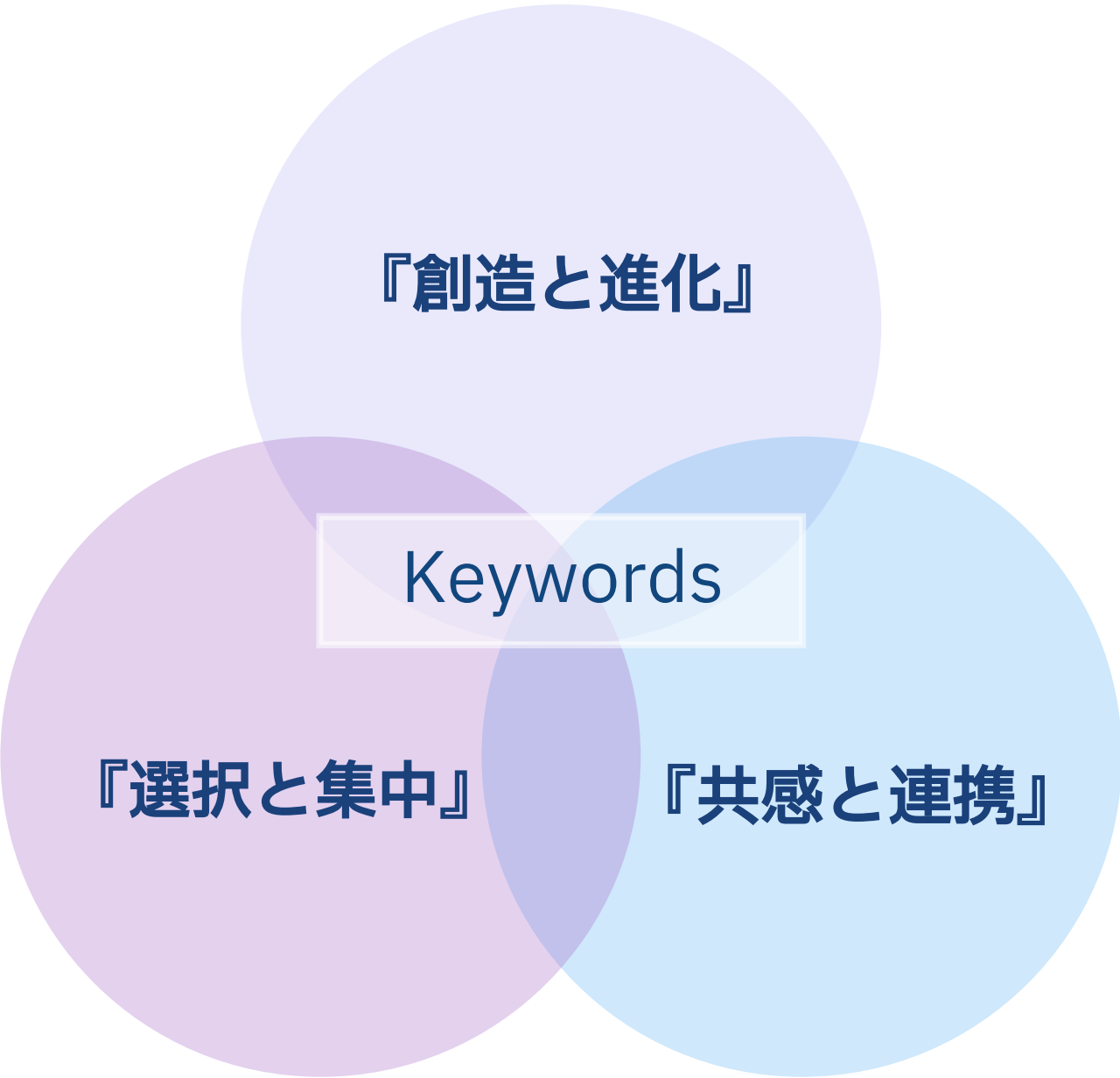
経営基盤の強化、持続可能で卓越した企業経営に向け、MTVの新しい価値の創出に取り組む



三重の未来づくり

地域に根ざす企業として信頼される情報と文化を届けながら、地域の人々と考え、行動し、未来づくりへ主体的に関わる放送局へと進化する

改革のキーワードと重点戦略



キーワード 重点戦略	創造と進化	選択と集中	共感と連携
自社コンテンツの強化	✓	✓	
新たなビジネスの構築	✓	✓	✓
業務効率化の推進		✓	✓
組織・人財戦略		✓	✓
企業価値を高めるためのブランド形成	✓		✓

01 自社コンテンツの強化

- 視聴者参加型番組
 - 学校や習い事の動画など視聴者自らが発信
 - 幅広い年代の活動や想いを届ける
- 自治体や企業との地域連携
 - 県や市町の情報 県内企業の取り組み紹介
 - 地域を巻き込んだ活動に密着
- アプリの充実
 - アクティブユーザー増加へ新コンテンツ追加
 - 他局同時配信

02 新たなビジネスの構築

- 新規事業立ち上げ
 - 新ブランド構築 既存技術の確認
市場調査と分析
 - 行動心理や価値観掘り起こし 他社視察
新サービス提供
- 自社イベント強化
 - 各部横断型 コンテンツ企画立案
 - 出展に関するパッケージ構築
- 防災プロジェクト
 - ニュース・Mieライブを中心に防災情報強化

03 業務効率化の推進

- 具体的な効率化に向けた施策
 - 業務プロセスの可視化と標準化
 - 問題点とムダ分析
- システムやツールの最適化とDX推進
 - 財務や考査などのAI導入
- 採算性の低い事業やコンテンツ等の縮小・廃止
 - 費用対効果の最大化
 - ステークホルダーへの影響評価

04 組織・人財戦略

- 組織の見直しと職場風土の醸成
 - 新組織戦略の構築
 - 自由な提案
 - エンゲージメント向上と働きがい創出
- 人財育成支援・人事評価の再構築
 - 社員への投資・育成制度の拡充
 - 組織力と生産性の向上
- 多様性の推進と福利厚生の実充実
 - 多様な働き方や人財の確保
 - ワークライフバランスの向上

05 企業価値を高めるためのブランド形成

- 新たなメッセージの発信
 - キャッチコピーやスローガンでPR
- 企業ブランドの刷新
 - 新ロゴマーク考案
- 開局記念事業
 - 開局60周年事業に取り組むためのプロジェクトチームの編成

ガバナンス・コンプライアンス強化

- 公正で透明性の高い経営を行うための監査・管理体制や機能の強化
- 法令遵守に加え、説明がつくかどうかの倫理観や公序良俗などの社会的規範を踏まえた公正・公平な業務運営の実施
- 匿名通報制度の見直し、チェック体制とフィードバックの改善による機能的な仕組みの再構築
- 情報資産の適切な保護と事業継続性の確保
- 事業リスクの事前共有による早期対応と意思決定の質向上
- 経営基盤・体制の強化、不測事態への備え、安定性の確保及び責務・負担の分散化に向けた制度の検討

スケジュール&マイルストーン

2026

基盤整備と挑戦

- 自社コンテンツ強化
⇒ 企画考案
- 新ビジネス
⇒ 市場調査
パッケージ構築
- 業務効率化
⇒ データ整理
デモトリアル
- 組織・人財戦略
⇒ 課題抽出
意識調査
- 60周年準備
⇒ コンセプト作成

2027

収益化

- 自社コンテンツ強化
⇒ 試験導入
- 新ビジネス
⇒ 初期投資
- 業務効率化
⇒ システム導入
- 組織・人財戦略
⇒ 新制度
- 60周年準備
⇒ ロゴ・
デザイン等策定

2028

成果の最大化 ブランド刷新

- 自社コンテンツ強化
⇒ 検証・
ブラッシュアップ
- 新ビジネス
⇒ 試験運用
- 業務効率化
⇒ 検証
- 組織・人財戦略
⇒ 進捗確認
- 60周年準備
⇒ 新ブランド
広報戦略

2029

開局60周年に向けて

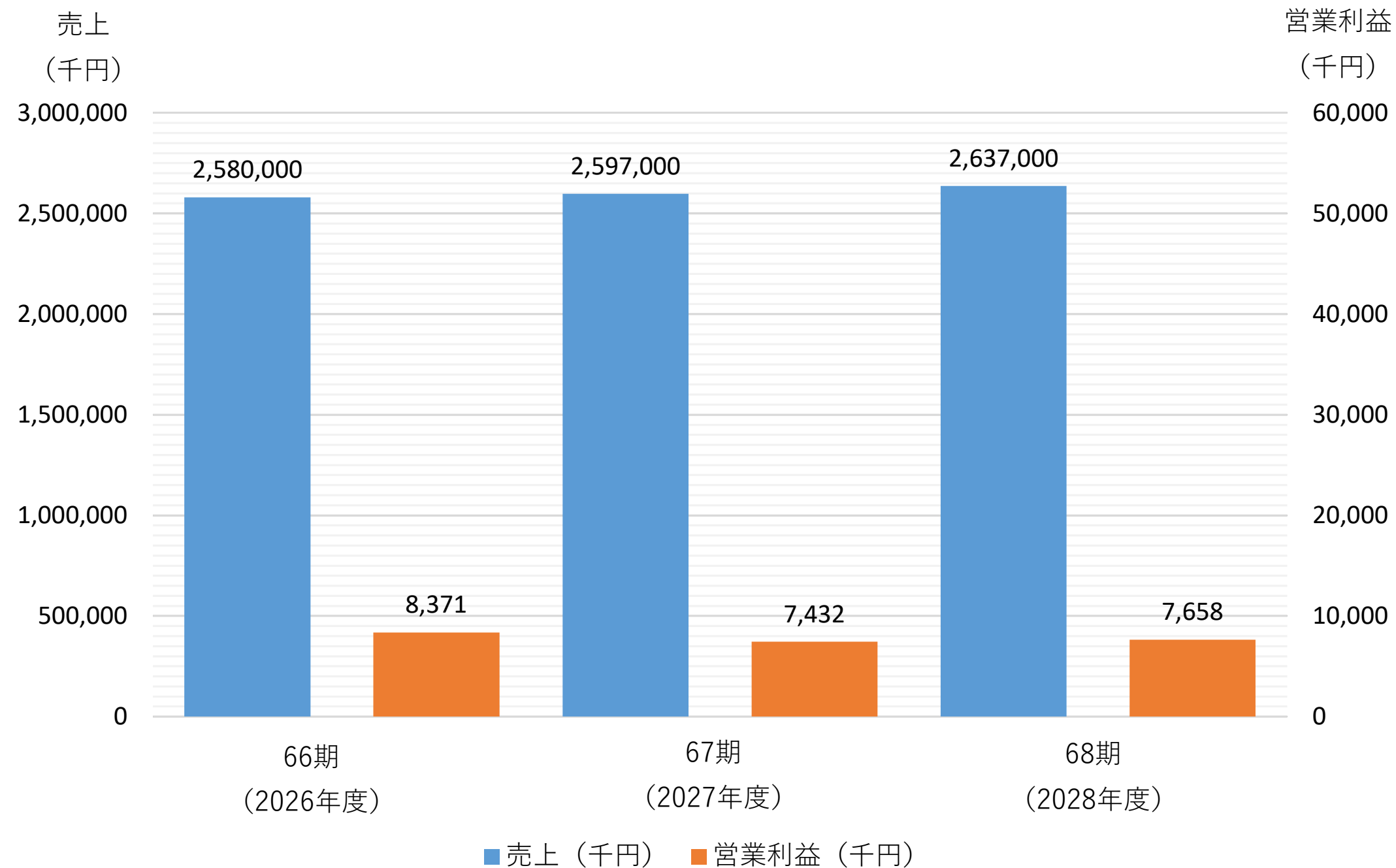
- 中期経営計画の成果検証
- 次期中期計画の策定準備



ガバナンス・コンプライアンス強化

四半期ごとに経営会議で進捗報告・調整

中期経営計画に基づく財務改善目標



売上の推移

タイム・スポット収入を中核に、自社制作番組や時流案件、営業体制強化による新規獲得を進めるとともに、テレビショッピングの編成改善、イベント・Web・広告代理、新規ビジネスなど放送外事業の積み上げにより、収益基盤の多角化と安定的な増収を図る。

営業利益の推移

採用・昇給要因を織り込みつつ、給与制度見直しや定年退職を踏まえ人件費を中期的に抑制。制作原価や経費の適正化を進めるとともに、設備更新は必要性を精査し、固定費抑制を徹底することで安定的な黒字経営を目指す。



最後に

三重テレビは、開局60周年に向けて地域の公共メディアとしての使命を果たしながら
変化するメディア環境に対応し、持続的な成長を目指します

三重テレビ放送
<https://www.mietv.com/>